

発行:(公財)日本フィルハーモニー交響楽団 〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 TEL 03-5378-6311 FAX 03-5378-6161

お面をつくって「動物の謝肉祭」で行進したよ 女子美術大学ヒーリング・アート表現領域の学生と一緒に

11月2日から4日まで宮城県名取市、福島市、宮城県東松島市へ、ちょっと大型の子ども向けのプログラムを用意して行きました。



初日の2日は名取市文化会館の小ホールで弦楽四重奏のコンサート。この日、近くにある増田児童センターでは、名取市の教育委員会子ども支援課の協力を得て、いつも日本フィルを支援してくださっている三菱UFJニコスの社員「おたすけボランティア」のみなさん13人が、児童センターの砂場づくりとイルミネーション設置の作業を行っていました。この仕事には、児童の父兄も参加、穴を掘り土を運び、りっぱな砂場を完成させました。

ホールの中では、日本フィルとはもう10年以上のコラボレーションを続けている女子美術大学ヒーリング・アート表現領域の学生たちが、子どもたちとお母さんと一緒に「お面づくり」を行っています。猫や犬やキリンやタヌキやカエルや、学生たちが用意したカラフルな材料でお面をつくりました。実は、この日の夜行われる日本フィルのコンサートで、演奏にあわせて行進しようという目的のためです。



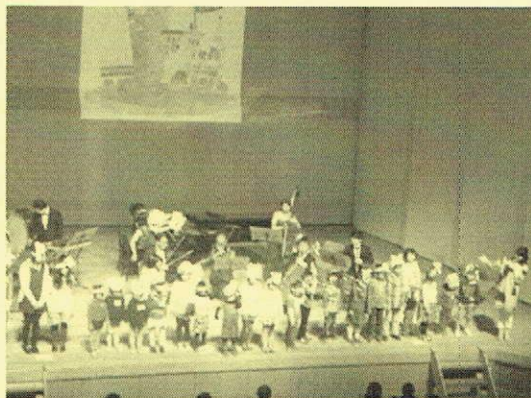
もいだくさんのボランティア活動

この日のイベントは盛りだくさんで、お母さんのための「化粧指導」もあり、きれいになったお母さんと家族の記念写真を撮ろう、というしゃれた企画も行われていました。写真館からプロの写真屋さんも待機していました。

夜はホールに移動して弦楽四重奏の鑑賞。日本フィルメンバーはヴァイオリン九鬼明子、加藤祐一、ヴィオラ佐藤玲子、チェロ山田智樹の4人。バッハ／アリア、モンテイー／チャールダッシュやアナと雪の女王など、親しみやすい曲の最後に「さんぽ」で、子どもたち約20名がステージに上り、演奏に合わせて行進しました。



パンダやウサギやタヌキも登場??サン＝サーンスもびっくり



びなど加わり、多彩な「動物」たちが参加しました。

コンサートは前半に「おもちゃのシンフォニー」や指揮者コーナーもあり、2人の小学生が指揮者体験を行うなど、江原さんの巧みな進行で楽しくすめられました。後半はいよいよ「動物の謝肉祭」。この作品には背景に女子美術大学ヒーリング・アート表現領域の学生たちの作品を投影してきていますが、今回からヴァージョンアップし、色調も多彩で美しく、格調の高い動物たちに仕上がりました。会場は約300名が入場しました。

3日は福島に移動し、福島テルサで「動物の謝肉祭」のコンサート。教育委員会の後援をいただいていたので、全市内の小学校にチラシが配布され、整理券は3週間前には予約中止になっていました。整理券配布の窓口は福島市に8つの支部を持つ商工会が受け持ってくださいました。「動物の謝肉祭」には弦楽四重奏の4人にコントバラス成澤美紀、フルート大平記子(賛助)、クラリネット石井一成(賛助)、打楽器遠藤功、斎藤祥子(賛助)が加わり、ピアノデュオはFUTABA、そして司会と歌に江原陽子さんが加わるというちょっと大型の編成でした。

会場のテルサの会議室では、ホール近くの幼稚園児約30名が集まり、前日と同じく女子美術大学の学生たちによる「お面をつくろう」ワークショップが行われ、サン＝サーンスの「動物の謝肉祭」に登場するライオン、亀、とり、白鳥…などの他に、パンダやウサギやタヌキや

